

経済 TOPICS

No. 249

(2025 年 11 月 17 日)

景気ウォッチング（要旨）

日本 … 生産の横ばい圏内の動きが続くなか、個人消費と輸出が弱めに推移しているものの、設備投資が引き続き堅調に推移していることから、全体としてはごく緩やかな回復の動きが続いている。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年比プラス幅が小幅上昇している。この間、徐々に顕在化している米国の通商政策の影響や中国経済の長期低迷など、先行き不透明感の強い状態が続いている。

米国 … 設備投資は堅調に推移し続けているものの、生産と個人消費が横這い圏内の動きとなっているほか、労働市場が悪化しつつあることから、全体としては減速の兆しがみられる。消費者物価は、緩やかに上昇している。

(参考) 日米の物価動向

〈日本〉 食料価格(除く生鮮食品)の上昇テンポが鈍化するなか、エネルギー価格が、政府補助金が前年より圧縮されている影響により上昇したため、前年比プラス幅が小幅拡大した。この間、エンゲル係数(家計の消費支出に占める食費の割合)は、高水準を維持している。

〈米国〉 サービス以外の価格が鎮静化しているなか、サービス価格が緩やかに上昇したことから、全体としても緩やかに上昇している。



京都フィナンシャルグループ

京都総研コンサルティング